

# 子どもたちの安全な登校の保障を スクールバスの 特別措置について

小学生の場合、館山市の規定では学校から直線距離で2キロメートル内に家がある場合はスクールバスの利用、または路線バスの通学定期の補助を受けることができません。けれども、実際に歩く距離が2キロ以上、あるいは途中に徒步では危険な箇所がある場合があります。そのような場合は、スクールバ



スの利用、または路線バスの通学定期の補助を行うべきと考えます。市の回答は、市内にはそのような場所は普遍的にあり、財政上追いつかないということです。けれども子どもたちが安全に通学できることは重要です。可能なところからでも特別措置を行い、子どもたちの安全を図っていくべきと考えます。

## ごみを減らしてCO<sub>2</sub>の削減と焼却炉の延命も 家庭ごみの削減を進め、 ごみ処理にかかる経費の節約を

現在焼却炉の改修工事によって延命化を図っています。工事に伴い、処理できないごみは市外の施設に搬出し処理されています。これまで委託費として約7,500万円かかっています。令和5年度は、2炉とも止める期間が長く、外部搬出にかかる経費は2億1千万円と予想されています。この経費を削減するには、市民



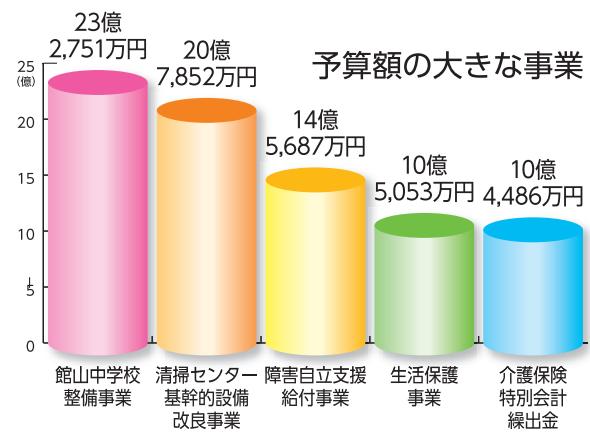
の協力が不可欠です。包装プラスチックや古紙の分別を促すとともに、生ごみや草、剪定枝のたい肥化の促進も今後の課題となります。生ごみ処理機購入のための補助金を利用した家庭は322世帯。市内の全家庭数からすればほんの一部ですが、この事業をごみ削減のための市民意識の向上に役立て欲しいと思います。

### 令和5年度予算から

## 令和5年度の予算は、約247億7,400万円で 前年度より約10%の増です

大規模な事業に多くの費用が掛かります。財政調整基金などからの繰り入れを行うため、基金が約10億円減少して、43億9千万円になる予定です。これは、家計に例えれば預貯金を引き出すことになります。

また、一般家庭と同様、電気料金や様々な物価の高騰が市の財政にも響いています。どう乗り切っていくか、今後の行財政改革にかかっています。



おわりに 皆様のご支援により市議会議員となって4年間。一般通告質問を欠かさず行い、身近な課題を幅広く取り上げてきました。多くの皆さんと一緒に、考えながら動くことを大切にしてきました。暮らしやすいまちが活力のあるまちとな



ります。これからも、子育てしたいと思えるまち、未来まで安心して暮らせるまち、経済的にも豊かなまちを実現するために力を尽くしていきます。